

共生社会の実現に向け、 多様性を尊重する生徒の育成

— 生徒主体の活動における非認知能力を生かした取組を通して —

研究構想図

長期研修員 丸橋 弘弥

目指す生徒像

共生社会の実現に向け、多様性を尊重する生徒

対話を重ねて合意形成を図る機会の充実



⑤
次へ
つなげる

校則の本質を全校で考える



自分とは違う意見も
大切にしていきたい

様々な考え方を大切に、合意形成を図る。
そして、協調性を生かして、
生徒が多様性を尊重する

④
解決方法
の提案

生徒企画の全校学活で、さらに対話を重ねて合意形成を図る

校則改定案を
職員会議で教師に提案



さらに対話を重ねる



全校生徒の意見を生かした校則改定案を提案する

③
調査活動
の実施

地域の中学校・高等学校への
インタビューをし、その内容を
全校生徒で共有

生徒が様々な考え方に触れる。
そして、共感性・協調性を生かして、個性
やジェンダー（多様性）について考える

校則改定案について、全校生徒と考える

②
解決方法
の話合い

アンケート結果を共有し、
生徒会本部と学級委員会が
話し合う



対話を重ねる



全校生徒からの意見をもとに、対話を重ねる

①
問題の
発見

校則についてのアンケート実施
生徒から直接聞き取り

生徒から校則の疑問について意見を聞く。
そして、共感性を生かして、生徒が互いの
考えの違い（多様性）に気付く

生徒主体の活動による校則の見直し

非認知能力「共感性」・「協調性」を生かす

【生徒の実態】

・自分とは違う意見について考える機会が少ない。

【教師の願い】

・多様な意見について深く考えてほしい。

【国や県の課題】

・子供自らが社会の創り手となり、課題解決をしていく教育の推進（第4期教育振興基本計画）
・多様な人々と関わりながら課題解決を図るための教育イノベーション（第2期群馬県教育大綱）

生徒主体の活動による校則の見直しの実際の様子

共感性を生かして、生徒が互いの考えの違い（多様性）に気付く

① 問題の発見
全校生徒からの声

校則についてのアンケート実施

例：
髪型の校則

髪型の校則が男女で異なるのは、なぜ？



ツーブロックが禁止なのはなぜ？

ツーブロックは爽やかでよいと思うけどな

② 解決方法の話合い
生徒が話合い

アンケート結果を共有し、生徒会本部と学級委員会が話し合う

他の中学校や高校では、どんな髪型の校則なのかな？



対話を重ねる

えっ、ツーブロックが派手だと思わない人もいるのか

共感性・協調性を生かして、個性やジェンダー（多様性）などについて考える

③ 調査活動の実施
全校生徒からの声

地域の中学校・高等学校へのインタビューをし、その内容を全校生徒で共有

高校の先生に聞きました！
・ツーブロックは、高校でも意見が多く出ている、検討中です。



インタビュー内容の掲示

ジェンダー平等の時代に合わせた校則にしていきたいね

校則でも男女の差をなくした方がよいよね

④ 解決方法の提案
生徒会本部が提案

校則改定案を職員会議で教師に提案



多様な意見について深く考えているね



全校生徒一人一人の多様な意見を大切にして、まとめました

さらに対話を重ねる

様々な考え方を大切にしながら、合意形成を図る。

そして、協調性を生かし、生徒が多様性を尊重する

⑤ 次へつなげる
生徒企画の全校学活

校則の本質を全校で考える

自分とは違う意見も大切にしていきたい

TPO（時間、場所、場面）に応じた髪型にしましょう。



校則改定案（一部）

玉村町で実践を共有

リーフレット（一部）



非認知能力「共感性」・「協調性」を生かす

成果	生徒主体の活動において、非認知能力「共感性」・「協調性」を生かして合意形成を図ることで、共生社会の実現に向け、多様性を尊重する生徒の育成につながった。
課題	今後も生徒が学校課題を自分事と捉えるために、全校学活以外の機会（例：委員会活動など）でも、対話を重ねる場を継続的に設定する必要がある。
提言	既存の教育活動においても、対話を重ねて合意形成を図る取組を更に改善・充実することで、エージェンシーが発揮され、共生社会の実現に向け、多様性を尊重する生徒の育成につながる。